

近畿中国局フォレスターNEWS

省力化・低コスト造林技術に関する現地検討会

9月18・19日、岡山県内（岡山市建部町、吉備中央町）において、近畿中国森林管理局と森林総合研究所関西支所との共催による『省力化・低コスト造林技術に関する現地検討会』が開催され、管内の府県及び市町村の林務担当者、研究機関、森林組合、林業事業体など延べ134名が参加しました。

1日目の講演会では、①再造林率の引き上げに向けて策定された「造林に係る省力化・低コスト技術指針」をはじめ、②遺伝的に成長の早いエリートツリー等を植栽した検定林の成長状況、③「低密度植栽」が材質に与える影響、④近畿中国森林管理局の低密度植栽に至った経緯など、これまでの調査結果等を各講師から説明を受けました。

2日目の現地検討会では、低密度植栽の試験地、ヒノキエリートツリーの生育実証試験地において、苗木の成長状況を説明するとともに、森林総合研究所、民間企業、茨城県森林組合連合会と共同開発された『電動苗木運搬車』の実演を行いました。

参加者から「いい経験となった」「すごく勉強になった」などの好意的な意見がある一方で、「結果は興味深いが、即効性は感じなかった」「従来の植栽本数との違いをより詳しく説明してほしい」と

「低密度植栽試験地の1,100本/ha、1,600本/ha、2,500本/haの林内をもう少し見学したかった」など、貴重な意見が出されました。

2日間という限られた日程でしたが、民有林への技術支援として大きく貢献できたのではないかと考えています。引き続き、地域のニーズに応じた、現地検討会となるよう取組を進めます。



講演会場（建部町文化センター）



ヒノキエリートツリーの生育実証試験地



電動苗木運搬車の実演

造林事業に係る現地検討会（鳥取森林管理署）

鳥取森林管理署は5月8日、鳥取県東伯郡三朝町の真山国有林の植付箇所において、生産性の向上、低コスト再造林、獣害対策の取組の一環として、現地検討会を開催し、鳥取県、中国四国農政局、鳥取水資源整備事務所から24名の職員が参加しました。

当事業地は、令和6年度に成長に優れたエリートツリーのスギ・ヒノキを植栽した箇所で、苗木の成長量調査を通じて、下刈り回数の削減、保育作業の負担軽減に向けた下刈り時期の弾力化を検討しています。

参加者からは、シカ防護柵の経費、ツリーシェルターの苗木への影響、地形に応じた防護柵の設置方法などの質問が出され、活発な意見交換となりました。



真山国有林森林整備事業地の説明

林業普及指導員中国・四国ブロックシンポジウム（徳島県）

8月21・22日、徳島県徳島市（徳島グランヴィリオホテル）において、「森林資源の適正な管理・利用に向けた市町村支援の取組」をテーマとした中国・四国ブロックシンポジウムが開催され、近畿中国森林管理局から8名が参加しました。

1日目は、各府県から発表事例が行われ、国有林からは民国連携事例報告として、森林技術・支援センター所長から『森林・林業技術視察プログラムと低コスト施業技術』と題して、当センターの技術開発の進捗状況と現地視察プログラムの内容を紹介しました。

2日目は、木材利用創造センター人材育成棟で施設見学をはじめ、各府県から報告された検討事項を踏まえた意見交換会が行われ、国有林からは「市町村支援で国有林に期待すること」として、各府県から「フィールドの提供」「先進技術の地域への定着」など、貴重な意見をいただきました。



シンポジウム会場（徳島市）



木材利用創造センター

林野庁
近畿中国森林管理局
技術普及課



国民の森林・国有林

TEL : 06-6881-3524
Email: kc_fukyu@maff.go.jp
URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記
今夏は危険な暑さが頻発した。7月における日本の平均気温は統計を開始した1898年以降最も高い数値をマークした。林業では夏から秋にかけて、下刈り、つる切り、除伐、枝打ち、間伐、生産事業などやることはいっぱいある。この暑さは、山の仕事とはいえ、相当な重労働であったと思う。林業労働者の確保の観点からも、林業労働者の負担軽減は急務と言える。